

# 令和2年度事業報告書

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日 昭和30年12月27日

協会は、昭和30年12月27日に(社)福島県畜産会として設立。平成13年4月1日に(社)福島県畜産会を存続法人として、(社)福島県家畜畜産物衛生指導協会及び福島県草地協会を再編統合し名称を(社)福島県畜産振興協会に変更した。平成14年4月1日に(社)福島県畜産物価格安定基金協会と統合。更に平成17年4月1日に(社)福島県畜産公社と合併した。平成25年3月25日福島県知事から公益社団法人への移行許可を得て、平成25年4月1日付けで公益社団法人福島県畜産振興協会に移行した。

### 2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定的向上と良質な畜産物の生産に貢献し、もって安全・安心な食料を安定的に供給することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に関する生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に関する調査・研究、情報の提供に関する事業
- (3) 畜産に関する技術・知識の普及啓発、畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (4) 肉用子牛生産安定等特別措置法（昭和63年法律第98号）に基づく生産者補給金の交付に関する事業
- (5) 肉用牛肥育経営の安定のための肥育牛補てん金交付契約の締結、生産者積立金の積立て及び肥育牛補てん金の交付に関する事業及びこれに付帯する事業
- (6) 家畜及び畜産物の価格安定等に関する事業
- (7) 家畜伝染性疾病の予防及び自衛防疫の推進に関する事業
- (8) 牧野、草地の維持管理指導に関する事業
- (9) 牛の凍結精液及び受精卵の供給に関する事業
- (10) 福島県家畜市場の管理運営に関する事業
- (11) 養蜂の振興及び家畜人工授精師の資質の向上等に関連する事業の受託
- (12) その他協会の目的を達成するために必要な事業

#### 4. 会員の状況

区 分	元年度末 会員数	令和2年度		2年度末 会員数	備 考
		増	減		
正 会 員	84	0	0	84	
賛助会員	2	0	0	2	
計	86	0	0	86	

#### 5. 主たる事務所 福島市南中央三丁目36番地

#### 6. 役員に関する事項

##### (1) 理 事

区 分	氏 名	所 属 団 体	年 月 日
退 任	菅野 典雄	福島県町村会（飯舘村）	R2.10.26
就 任	杉岡 誠	福島県町村会（飯舘村）	R3. 3.23

#### 7. 会議の開催に関する事項

##### (1) 理事会・総会の開催状況

区 分	開催時期・場所	内 容
第1回 理事会	令和2年6月11日 県土地改良会館	(1) 令和元年度事業報告書及びに財務諸表の承認について (2) 福島県肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部変更について (3) 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の返還について (4) 令和2年度肥育牛経営等緊急支援特別対策事業の実施について (5) 令和2年度発生農場肉用牛経営継続支援特別対策事業の実施について (6) 令和2年度優良肉用子牛生産推進緊急対策事業の実施について (7) 役員候補者の選任について (8) 功労者の表彰について (9) 令和2年度第1回通常総会の開催及び提出議案について（付帯決議） 報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告について

第1回 通常総会	令和2年6月26日 JA福島ビル	(1) 令和元年度事業報告書及び財務諸表の承認について (2) 理事の選任について
第2回 理事会	令和3年3月8日 県土地改良会館	(1) 令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について (2) 令和3年年度会費及び納入方法について (3) 令和3年年度役員報酬の決定について (4) 令和3年年度借入金最高限度額の承認について (5) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて (6) 理事候補者の補欠選任について (7) 令和2年度第2回通常総会の開催及び提出議案について (付帯決議) 報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告について
第2回 通常総会	令和3年3月23日 JA福島ビル	(1) 令和3年度会費及び納入方法について (2) 令和3年度役員報酬の決定について (3) 理事の補欠選任について 報告事項 令和3年度事業計画及び収支予算書について

## II 事業実施概要

新型コロナウイルスの感染拡大によりインバウンドや外食需要が急激に減少し、全国的に牛枝肉価格が急落しました。また、本県の肥育経営は原発事故以降、風評により枝肉価格が全国平均より低い水準での取引が今もなお続いています。

また、収益が悪化した場合に補填金が交付される肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）が県単位から東北ブロック単位へ変更され、本県の交付金単価は大幅に減額されるなど経営継続の危機に瀕しており、生産者が安心して経営できるよう実態に即した算定方式への変更を切望します。

また、TPP11協定、日EU・EPA（経済連携協定）や日米貿易協定の発効により、輸入畜産物の増加による国内畜産への影響が心配されるとともに、県内でも野生イノシシからCSF（豚熱）が確認され、柵の整備やワクチン接種を実施しているものの、畜産経営は厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中、協会としては、生産現場の声に十分耳を傾けながら畜産農家の経営安定・経営体質強化のため、肉用牛肥育経営安定交付金制度及び肉用牛肥育経営持続支援事業、肉用子牛生産者補給金事業、衛生対策事業、畜産クラスター事業、生産技術の向上対策など県・市町村及び関係団体との連携を図り実施しました。

### Ⅲ 事業別実績概要

#### 1. 畜産経営・技術向上支援事業

##### (1) 畜産経営技術高度化指導事業及び畜産経営技術指導等推進事業

畜産関係団体や各指導機関等から構成される専門家により、畜産農家等に対し、畜種別の経営管理や生産技術等に関する支援等を実施したほか、畜産関係団体連絡協議会を開催し、畜産関係団体の連絡調整及び畜産経営に係る情報を交換し畜産技術の普及活動を行った。

また、畜産コンサルタントの資格を有する当協会の職員等が、中央畜産会が運営するシステムを活用し、県内の畜産農家等に対する支援、助言等を行うとともに畜産担い手の育成確保、地域畜産の活性化を図った。

- ・経営分析システムを活用した経営管理支援
- ・肥育牛出荷成績とりまとめシステムを活用した肉用牛肥育経営支援

【事業の財源】 県補助金（定額） 1,000,000円  
地方競馬全国協会補助金（定額） 7,167,000円

##### 《令和2年度実績》

- 1) 畜産関係団体連絡協議会開催回数 3回
- 2) 経営管理支援 2戸
- 3) 支援・指導畜産農家戸数 3戸
- 4) 女性ネットワーク情報交流及び馬事・畜産普及宣伝の推進

##### (2) 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会補助事業）

農畜産業振興機構の補助により利子補給が行われる畜産特別支援資金融通補助事業の適正かつ円滑な推進を図るとともに、当該資金借受者の経営改善を促進するための指導、助言を行い、経営再建の支援を図った。

【事業の財源】 中央畜産会補助金（定額） 272,007円

##### 《令和2年度実績》

- 1) 畜産経営改善指導推進協議会の開催 1回
- 2) 対象農家の計画作成指導並びに計画達成指導の実施
  - ア 借受者戸数 2戸
  - イ 指導延べ回数 2回

##### (3) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構補助事業）

担い手の高齢化等に対応し、肉用牛ヘルパー利用組合等が実施する活動や地域にお

ける優良繁殖雌牛の増頭に対し助成を行った。

【事業の財源】 農畜産業振興機構補助金（定額、1/2） 21,294,278 円

《令和2年度実績》

- 1) 肉用牛ヘルパー組合等 7 団体
- 2) 導入補助団体数及び頭数 3 団体 30 頭

(4) 畜産女性経営者育成強化事業〔畜産女性経営者の地域育成支援事業〕

畜産業に携わる女性がより一層地域畜産を支える存在となるよう、県内畜産女性メンバーを対象とした研修等を通じ、女性経営者としてのスキルアップを図った。

【事業の財源】 中央畜産会受託金 1,924,000 円

《令和2年度実績》

- 1) 勉強会 1 回
- 2) 講習会 1 回
- 3) 地域間交流会 1 回

(5) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

省力化機械の整備等による生産コストの削減や品質向上など収益力・生産基盤を強化することにより、畜産・酪農の国際競争力の強化を図るため、地域の収益性向上に必要な機械のリース導入に対して推進を図った。

【事業の財源】 中央畜産会受託金 2,569,672 円

《令和2年度実績》

- 1) 事業参加要望書 42 件
- 2) 事業参加申請書 49 件
- 3) 事業執行に係る連絡・調整・取りまとめ等

(6) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT 化等機械装置等導入事業）及び酪農労働省力化施設等緊急整備対策事業

酪農・肉用牛経営における ICT 等の新技術を活用した省力化機器の導入支援、酪農経営の労働力負担軽減・省力化及び飼養技術の高度化に資するための取組を支援した。

【事業の財源】 中央畜産会委託費（定額） 659,338 円

《令和2年度実績》

- 1) 事業参加の申請書等の取りまとめ事務 3件
- 2) 事業執行に係る連絡・調整等

(7) 畜産近代化リース協会貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会から貸付された機械・施設の利用状況調査及び適切な管理指導等のアフターフォローを行うとともに事業推進を図った。

【事業の財源】 畜産近代化リース協会受託金 165,095円

《令和2年度実績》

- 1) 利用状況調査指導戸数 2戸 2基

(8) 新型コロナウイルス感染症の発生農場等における経営継続対策事業

(発生農場肉用牛経営継続支援対策事業)

新型コロナウイルス感染者等が確認された畜産経営体における経営の継続を支援するため、代替要員の派遣及び発生農場の消毒にかかる経費に対する補助を実施した。

【事業の財源】 農畜産業振興機構補助金 313,248円

《令和2年度実績》

- 1) 対象生産集団等 1件

(9) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（生産基盤拡大加速化事業（肉用牛））

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員が優良な繁殖雌牛を増頭し、輸出に適した和牛肉の増産を図るため増頭実績に応じた奨励金の交付するため以下の業務を実施した。

【事業の財源】 全国肉用牛振興基金協会 受託金 1,816,950円

《令和2年度実績》

- 1) 福島県内における事業の推進に係る業務 増頭実績 353頭

## 2. 情報発信・交流事業

(1) 機関誌の発行

機関誌「畜産福島」を発刊し、県及び市町村関係機関、農業協同組合並びに畜産関係団体に向けて畜産技術の普及活動や復興等に関する情報を発信した。

《令和2年度実績》

発行部数 年6回発行 1,300部/回

(2) 畜産関係団体調整機能強化事業

県内畜産農家の女性担い手が組織する「うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN」のPR活動等を支援した。

生産者からの相談に応じるため、役職員が研修会等に参加し、スキルアップを図った。

【事業の財源】 中央畜産会受託金 1,027,295円

《令和2年度実績》

1) 意見交換会 1回

2) 役職員研修会等 17回

### 3. 家畜衛生事業

(1) 予防接種事業

ア 家畜伝染病発生予防のための予防接種事業

家畜伝染病の発生及び流行防止のため、国・県の指導のもと、生産者・市町村・関係団体及び各地域家畜衛生推進協議会による防疫体制の強化を図り、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業の円滑な推進を図った。

【事業の財源】 予防接種生産者負担金

《令和2年度実績》

予 防 接 種 名	実施頭数
豚丹毒（生）	430
流行性脳炎・豚パルボ（混）	99
牛伝染性鼻気管炎（5混）	10,478
牛伝染性鼻気管炎（6混）	197
牛ヘモフィルス感染症	10,447
アカバネ病	15,550
牛下痢症（5混）	245
流行性脳炎（馬）	182
馬インフルエンザ	356

#### イ 育成馬予防接種推進事業

馬飼養形態の多様化及び頻繁な移動時の実態を踏まえ、育成馬及び生産地の繁殖牝馬について予防接種の徹底を図り、生産地における馬防疫を推進した。

#### 【事業の財源】 育成馬等予防接種推進事業

《令和2年度実績》

対象疾病：馬インフルエンザ、日本脳炎（馬）、破傷風（馬） 55頭

#### (2) 自衛防疫強化総合対策事業

県内の畜産農家を対象として、経済的に大きな被害を与えるアカバネ病の予防ワクチン接種に伴う獣医師技術料を助成した。

【事業の財源】 県補助金（定額） 1,305,000円

《令和2年度実績》

1) アカバネ病ワクチン接種頭数 15,550頭

#### (3) 牛疾病検査円滑化推進対策事業

「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、48月齢以上の歩行困難、起立不能等を呈した死亡牛及び96月齢以上の一般の死亡牛の検査と適正処理の推進を図るため、畜産農家に対して輸送費用を助成した。

【事業の財源】 国補助金（定額、1/2） 4,961,055円

《令和2年度実績》

死亡牛取扱頭数 394頭

#### (4) 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫等の畜産経営に極めて重大な影響を及ぼす疾病が万一発生した場合、畜産経営への影響を緩和するため、発生農場が経営再開までに必要とする経費や殺処分した家畜の焼却・埋却等に要する経費を支援する仕組みへの加入推進を図った。

【事業の財源】 農畜産業振興機構補助金（定額） 1,836,261円



《令和2年度実績》

1) 契約締結及び積立金額状況 (令和3年3月末現在)

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額(円)
牛	1,649	55,909	8,404,935
豚	43	127,292	19,954,860
計	1,692	183,201	28,359,795

2) 対象伝染病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、ASF、CSF

(5) 家畜生産農場衛生支援対策事業

ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫及び牛ウイルス性下痢・粘膜症(BVD-MD)の防疫対策、牛のアカバネ病の流行防止対策を推進し、家畜の損耗防止を図った。

【事業の財源】 国補助金 (定額、1/2) 7,852,669 円

《令和2年度実績》

- 1) ヨーネ病対策 検査頭数 80 頭
- 2) 牛伝染性リンパ腫 検査頭数 2,917 頭  
吸血昆虫の忌避・駆除対策 2 公共牧場及び1 農場  
高リスクのとう汰推進 2 戸2 頭
- 3) BVD-MD対策 検査頭数 1,412 検体
- 4) アカバネ病対策 ワクチン接種頭数 8,700 頭 (補助対象上限頭数)
- 5) 飼養衛生指導 指導戸数 6 戸

(6) 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生管理技術等の向上を図るため、講習会及び実態調査を行った。

【事業の財源】 中央畜産会受託金 402,058 円

《令和2年度実績》

- 1) 講習会 1 回
- 2) 実態調査

(7) 家畜防疫・衛生指導対策事業

地域伝染病発生時の対応を支援し、地域の自衛防疫体制の充実強化を図るため、防疫演習を実施した。

【事業の財源】 中央畜産会受託金 1,375,037 円

《令和2年度実績》

1) 防疫演習の開催 3地域(県中・会津・いわき)

(8) ASF(アフリカ豚熱)侵入防止緊急支援事業(令和元年度事業繰り越し)

養豚農場へのASFの予防及びまん延防止を図るため、野生動物の侵入に対する防護柵の整備に対し、養豚生産者へ補助した。

【事業の財源】農畜産業振興機構補助金 65,659,766円

福島県補助金 8,224,003円

《令和2年度実績》

37農場

#### 4. 家畜改良事業

(1) 凍結精液・凍結受精卵供給事業

家畜及び畜産物の生産や品質の向上、価格の安定を図るため、県及び関係団体との連携のもと、牛の資質改良に係る優良な凍結精液・受精卵の供給を行った。

【事業の財源】販売手数料収入

《令和2年度実績》

1) 凍結精液供給本数 7,185本

肉用牛 6,651本(うち県基幹種雄牛 勝忠安福 1,414本)

乳用牛 534本

2) 受精卵供給個数 20個

(2) 産肉能力平準化促進事業

全国レベルで肉用牛の産肉能力を向上させる優良な種雄牛を選抜するため、家畜改良事業団との連携のもと調整交配を実施した。

【事業の財源】家畜改良事業団受託金 99,438円

《令和2年度実績》

1) 調整交配実績頭数 40頭(県北地方6頭、県中地方19頭、県南地方15頭)

## 5. 家畜市場管理運営事業

### (1) 家畜市場管理運営事業

福島県家畜市場における公正な家畜取引及び適正な価格形成を確保するため、当協会が所有する施設等を市場開設者の利用に供し、家畜のせりが円滑に運営できるよう適切な管理業務を行った。

【事業の財源】施設利用料収入等

《令和2年度実績》

畜種	区分	開設者	回数	日数	上場頭数
肉用牛	子牛	全農県本部	24	24	9,030
	成牛		12	12	893
乳用牛	子牛	全農県本部	12	12	1,481
	子牛	県酪農協	12	12	2,529
	成牛		4	4	87

### (2) 家畜市場の施設整備

家畜市場の施設整備を行い、利便性の向上を図った。

【事業の財源】施設利用料収入等

《令和2年度実績》

- 1) つなぎ場の暑熱対策のための扇風機設置(37台)
- 2) エアコン設置(食堂及びセリ場1階・2階事務所)
- 3) トイレ改修工事 6カ所

## 6. 価格安定事業

### (1) 肉用子牛価格安定事業(肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業)

肉用子牛価格安定等特別措置法に基づき、肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格、合理化目標価格を下回ったときに、当協会と肉用子牛生産者補給金契約を締結した肉用子牛の生産者に対し生産者補給金を交付する事業であるが、当該年度は第1四半期において、「その他の肉専用種」の補給金を交付した。

また、肉用子牛生産者補給金交付業務の適正に実施するため、調査指導事業、肉用子牛取引情報等の収集を図り、肉用牛経営の安定化に資した。

【事業の財源】農畜産業振興機構補助金(定額) 21,156,711円

《令和2年度実績》

- 1) 生産者補給金交付契約者数 1,649 戸
- 2) 推進会議 1回

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（マルキン制度）

肉用牛経営の安定を図るため、生産者の抛出（肥育安定基金）と機構の交付金（生産者：機構＝1：3）により、四半期ごとの肥育牛1頭当たり標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額分の9割を交付金として補てんする制度により肉用牛肥育経営生産基盤の維持に寄与した。

【事業の財源】 農畜産業振興機構委託事業 9,839,000円

《令和2年度実績》

- 1) 契約生産者 167者
- 2) 推進会議 1回
- 3) 交付金補填頭数

(単位：頭)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
補填交付頭数	6,702	4,897	162	11,761

(3) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）

経営体質の強化を図るために肥育牛経営強化計画を策定した肥育経営体に対して、出荷頭数に応じた奨励金として1頭当たり20,000円を交付した。

【事業の財源】 中央畜産会事務委託費 2,661,696円

《令和2年度実績》

- 1) 事業参加者数 183人
- 2) 奨励金交付頭数 10,844頭  
うち、マルキン登録頭数 10,061頭
- 3) 奨励金交付金額 216,880,000円

(4) 肉用牛肥育経営持続支援事業

経営体質の強化を図るために肥育牛経営強化計画を策定した肥育経営体に対して、出荷頭数に応じた奨励金を交付した。

【事業の財源】 福島県補助金

《令和2年度実績》

- 1) 交付頭数（肉専用種） 6,940 頭
- 2) 補助金交付金額 138,914,785 円（20,000 円／1 頭当り）
- 3) 交付頭数（交雑種・乳用種） 3,904 頭
- 4) 補助金交付金額 39,072,285 円（10,000 円／1 頭当り）

(5) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

肉用子牛生産者の生産意欲を維持し、肉用牛の生産基盤の弱体化を防ぐため、経営改善計画に取り組んだ者に対し、全国平均価格が発動基準を下回った場合、奨励金を交付する事業であるが、今年度は令和3年3月において「その他の肉専用種」の奨励金を交付した。

【事業の財源】 農畜産業振興機構補助事業 670,730 円

《令和2年度実績》

- 1) 交付対象者 1,246 人
- 2) 推進会議 1回
- 3) 奨励金交付頭数 1頭
- 4) 奨励金交付金額 30,000円

7. その他の事業（相互扶助等事業）について

(1) 草地改良等推進事業

草地関係資材の斡旋を行った。

(2) 養蜂の振興及び家畜人工授精師の資質向上等に関連する事業

福島県養蜂協会並びに福島県家畜人工授精師協会の受託事務を行った。

(3) 損害賠償対策事業

J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策福島県協議会の加入団体として、東電に対する畜産農家等の損害賠償請求のとりまとめ事務を行った。